



6月議会最終日

ま市新年度予算を可決

6月定例会は、

6月8日から24日までの17日間、開かれました。

定例会初日には、村上市長が、「使命は、一生涯、住み続けたいまち“あま”を実現すること」と、市政運営の基本的な考えを表明。

その後、条例の一部改正や22年度の一般会計や各会計予算などを審議しました。条例や新年度予算は、それぞれ所管の常任委員会に付託。慎重に審査した結果、提案された議案をすべて原案のとおり可決しました。

平

成22年度の市の一般会計と9つの特別会計、3

つの企業会計をあわせた当初予算総額が、447億6384万円と決まりました。このうち、一般会計は251億2235万円、前年度比（旧3町の七宝、美和、甚目寺の合計）13.9%、30億6874万円の増加となりました。

増加の主な原因は、新規の子ども手当支給事業（子ども手当＋児童手当）が前年度の児童手当事業と比べ、約11億4000万円。市への昇格で新たに生活保護事業が加わり、約12億5000万円などによるものです。なお、新年度の事業など詳しくは8月1日発行の「広報あま」に掲載されています。どうぞご覧ください。

一

一般会計の歳入では、厳しい雇用・所得環境が続い

ていることから個人、法人市民税の大幅な減少を見込み、前年度比7%減の94億7195万円となりました。

借金に当たる市債は、国の財政見通しを勘案し、財源不足を補てんする臨時財政対策債など22%増の26億8020万円発行します。

高

度先端産業立地奨励条例が制定されました。こ

れは、市内にバイオテクノロジーやIT関連など、先端産業の工場新設や、増設する企業を誘致し、あま市の産業の高度化及び地域の活性化を図るものです。この条例は第1回臨時会にて制定されました。

平成22年度会計別予算一覧表

(単位：万円、%)

会計名	22年度	21年度 旧3町合計額	増減額	伸び率	
一般会計	251億2235	220億5360	30億6874	13.91	
国民健康保険特別会計	91億3012	89億1088	2億1923	2.46	
土地取得特別会計	6081	1億1306	△5225	△46.22	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	4256	4260	△5	△0.11	
簡易水道事業特別会計	3976	3936	40	1.02	
市営住宅管理事業特別会計	5807	6082	△275	△4.52	
老人保健特別会計	688	1534	△846	△55.11	
介護保険特別会計	保険事業勘定	35億8470	33億9819	1億8650	5.49
	サービス事業勘定	1516	720	796	110.38
公共下水道事業特別会計	17億633	21億4869	△4億4235	△20.59	
後期高齢者医療特別会計	12億4279	10億1518	2億2761	22.42	
合計	410億956	378億497	32億458	8.48	
企業会計(2水道・病院事業)	37億5427				
総計	447億6384				

注1) 合計欄、総計欄は各会計の端数処理により一致しません。

注2) 増減額、伸び率は端数処理により、表内での計算と一致しません。

通

常は、3月議会に翌年度予算(当初予算)を審議しますが、合併により通常の事務手続きができないので、暫定予算を経て、6月議会に年間予算(いわゆる当初予算)が提出されました。左記の表は、22年度あま市の

会計別予算一覧表です。一つの市となり、旧3町で独自に各々進めてきた事務事業の見直しによる減額や、反対に事務の統合に伴う増額となった事業もあります。

総額で447億円のあ

介護予防事業の利用見込みは

問 老人保健という制度はありません。この会計はいつまで続きますか。

市民生活部長 老人保健制度は平成20年度に後期高齢者医療制度にかわっています。医療費の支払いなどに必要なため継続しています。国の方針が正式決定していませんので、本年度で終了と言えない状況です。

問 介護給付費収入の新予防給付ケアマネジメント収入とは。

福祉部長 介護保険の中で、要支援1及び要支援2の方の介護予防サービス給付です。

問 介護予防事業の利用見込みは。

福祉部長 栄養改善事業を確認するための血液検査、15名。通所による介護予防を実施するための運動機能向上事業、60名を予定。また理学療法士

による運動機能向上の教室で、1回10名程度、歯科医師による口腔機能に関する講話や健診など、1回10名程度を予定しています。



総合福祉センターでのデイサービス

問 下水道事業費で今年度の関連予算は。

下水道課長 管きよ整備工事として5億9625万円、舗装復旧工事で、

1億2440万円です。問 浄化槽の雨水貯留槽転用費、補助金などのパンフレットはありますか。

下水道課長 地元説明会の説明資料としてパンフレットを配布しています。

市民病院の収入を増やすには

問 市民病院は8億円ほど、市としての負担があります。収入を増やすには医師を増やすしか方法はないと思いますが、そのためにどういった努力をしますか。

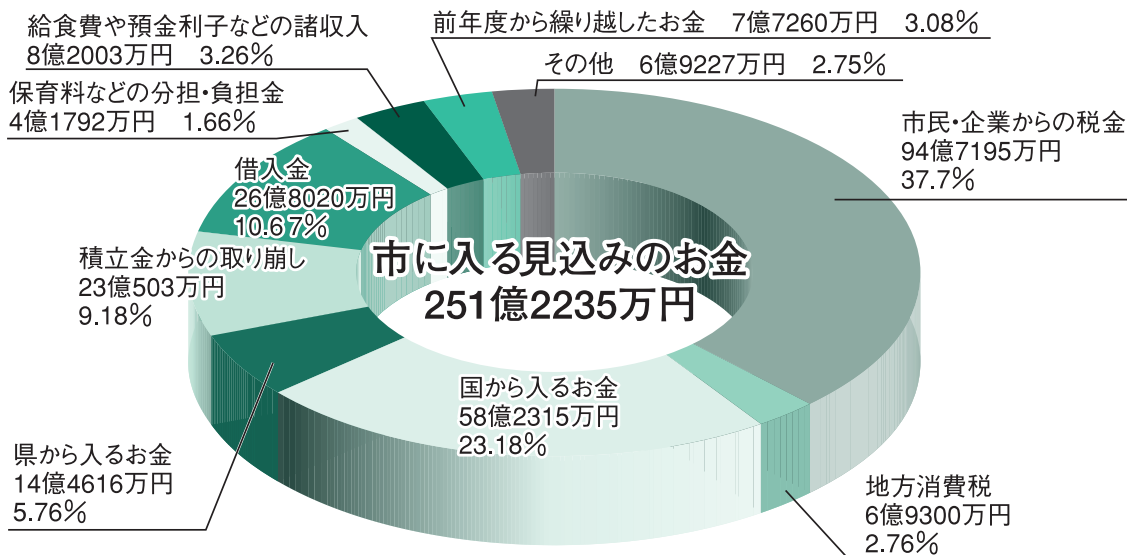
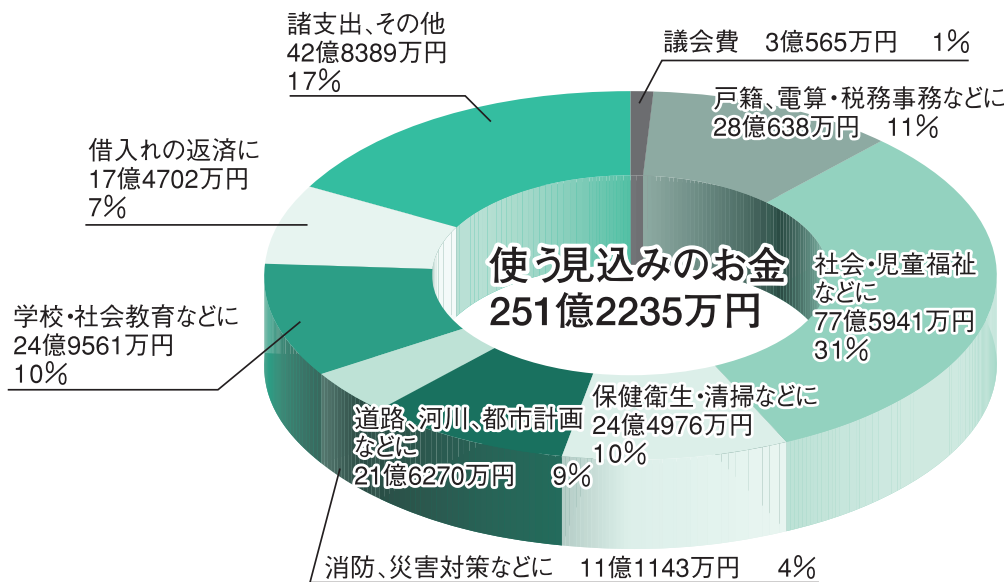
市民病院事務局長 医師不足には苦慮しています。が、大学などを通じて医師の確保に努めていきます。

一般会計

8万8千人の英知と力を集め 市民主導型のまちづくりを

当初予算は251億円
 7.14%減
 94億7195万円

「8万8千人の市民の英知と力を集め、市民主導型のまちづくりを進めていきます」と、市長の施政方針が示され、スタートしたあま市。新年度予算は、本会議での2日間の審議を踏まえ、3つの常任委員会へ付託され、計5日間にわたって審議されました。一般会計では、251億2235万円をめぐり、活発な質疑が交わされました。その結果、付託された議案はすべてを可決すべきものと決定。24日に行われた本会議で可決しました。



財政の弾力性を示す指標は

問 財政の弾力性を示す指標は何%で、目標はどれくらいと考えますか。

企画財政部長 20年度決算でみますと、七宝町90.8%、美和町92.3%、甚目寺町79.3%で、七宝・美和町は、県平均を10ポイント近く上回って、財政が硬直化しています。市の分は、決算が済まないとできません。

同指標を県平均値に近づけるため、経費削減を進めます。

問 市の借金は、いずれ市民が返さなければなりません。ぜひとも安い金利を探して借入れをしてください。

企画財政部長 地元金融機関で入札したところ、0.793%の低金利がありました。今後も入札を進めていきます。

問 市税の滞納額がいくらかで、収納率アップ策は

どのように考えていますか。

総務部長 21年度見込みで10億1000万円です。相談に乗るなど根気よく納税者に対応して、納めていただくようにしています。



収納課の窓口

あま市の新しい船出の方向は

問 新市の基本構想作成費が予算化されています。市の新しい船出の方

向がまったく見えませんが、どう考えているのでしょうか。

企画財政部長 今国会で、基本構想の策定義務を削除する地方自治法改正の審議がされていたために、予算を組みませんでした。国の方向が変わったということで、9月議会には補正予算をお願いしたいと思っています。

問 給食センター費が、旧3町に比べて増えているがどうしてですか。

人事秘書課長 昨年までは、保育園給食調理員13人分を保育費で計上していましたが、今年から給食センター費で計上したために増えました。

七宝駅、木田駅、甚目寺駅の開発は

問 木田駅前開発の予算は7.5億円。工事費を含めた資料は、委員会に提示されますか。

市長 全員協議会になると思いますが、工事費など必要な資料を提示します。

問 七宝町出身者としては、甚目寺駅周辺のまちづくりの内容が分からない。詳しい説明をしてほしい。

都市計画課長 総予算は31億円ぐらいで、75%ぐらいの進捗。最終年度なのでやりきるしかありません。

問 甚目寺駅、木田駅で大きな事業をやっていますが、なぜ七宝駅がないのか広報等で市民に知らせてほしい。

市長 旧七宝町の経緯を調べて、お知らせします。
問 総務企画費で、名古

屋市高速鉄道6号線建設促進に関する負担金があります。これからも続けて支出されるのでしょうか。

企画政策課長 大治町とあま市で3万円ずつ出し、地下鉄延伸を促進していきます。



開発中の甚目寺駅前ロータリー

夏祭りの申請は、提出できなかったが

問 美和町の商工会が、夏祭りの補助申請は「待ってくれ」と言われて提出できなかったと聞いていますが。

市長 旧各町の行事ではなく、市のお祭りとしての予算だけにしぼりました。来年は、市としてのいい祭りをしていきたいと考えます。

問 図書館の図書購入費で、公民館分の購入に比べて、図書館の購入分が少なくはありませんか。

生涯学習課長 旧七宝では、県の移動図書館がきていましたが、合併で図書館ができ、こなくなりましたので、公民館・図書室の本を充実させます。